

林の育成に努めます。

・造林事業 6,884万円

・置戸町民有林振興事業 1,474万円

商工関係では、特得商品券事業を引き続き支援（200万円）するほか、環境への配慮や電気料のコスト削減のため街路灯のLED化を進めるため、秋田、境野、勝山地区を中心に132灯分544万円を計上しました。また、夏まつり関連の事業として、損傷の著しいテントやテーブル等の更新費用として566万円を計上しました。

・置戸町街路灯設置事業 544万円

・夏まつり備品整備事業 566万円

土木関係では、継続して、ふるさと銀河線跡地に建設中の公営住宅に隣接する町道生涯学習情報センター通り線の改良工事2,218万円を計上しました。また、平成25年度に境野地区の銀河線跡地を宅地造成しましたが、その分譲地に隣接する町道境野親交町通り線の改良工事1,000万円を計上しました。橋梁の長寿命化修繕計画に基づく予防的な修繕を行うために1億2,400万円を計上しました。

・町道整備事業 3,218万円

・橋梁長寿命化修繕事業 1億2,400万円

消防関係では、高規格救急車、訓練用資機材更新のため3,397万円を計上し、救急体制の強化に努めます。また、北海道消防操法訓練大会への参加経費を計上し、消防技術の向上を図ります。

・高規格救急車等購入事業 3,397万円

学校教育関係では、学習指導要領に基づく児童生徒の学力向上を目指し、引き続き義務教育教材の整備や、地域との連携による教育力の向上に努めます。

置戸高校への支援については、新たな事業として、希望者に対して栄養バランスの取れた学校給食の提供を開始します。



お置戸町の地域キャラクター

社会教育関係では、第9次社会教育5ヶ年計画に基づき、活力ある地域づくりを進めることを目標に、引き続き社会教育の振興を図ります。公民

館施設では、平成25年度に旧勝山小学校を勝山公民館に転用するため改修を実施しましたが、本年度は外構工事として810万円を計上しました。本町の地域キャラクターである「おけばんばくん」の着ぐるみ製作経費として310万円を計上し、地域おこしやPR活動を行います。

・勝山公民館外構工事 810万円

・着ぐるみ製作事業 310万円

スポーツ振興では、小学校低学年を対象に、総合的な運動基礎能力の向上を目指し「わんぱくクラブ」を実施していますが、活動内容が好評なことから、引き続き関係経費（22万円）を計上しました。体育施設関係では、町営野球場の改修経費として781万円、ファミリースポーツセンター耐震改修工事1,100万円、置戸水泳プール改修工事2,038万円を計上し、より充実した環境でのスポーツ活動を支援し、健康の保持増進や体力づくりの向上を図れるよう整備を行います。

・町営野球場改修工事 781万円

・ファミリースポーツセンター耐震改修工事 1,100万円

・置戸水泳プール改修工事 2,038万円

生涯学習情報センターでは、これまで多くの町民からお話頂いた「古老の声の録音」の編集作業を進めるため、関係経費（133万円）を計上しました。また、『置戸100年の歴史』発刊を目指し、編集作業経費として114万円を計上しました。

・置戸100年の歴史編さん委託事業 114万円

森林工芸館では、その年に生まれたお子さんに対してオケクラフトのセットを贈る「すくすくギフト」事業を引き続き実施し、乳幼児期からの木育の一環として50万円を計上しました。

・すくすくギフト事業 50万円

平成27年度に迎える開町100周年に向けて、実行委員会を立ち上げ、記録映像の整理作成、看板作成、準備経費など1,050万円を計上しました。また、例年実施している芸術文化鑑賞事業をイベントと位置づけ、300万円を計上しました。

・開町100周年記念事業 1,050万円

・芸術文化鑑賞事業 300万円

簡易水道特別会計では、簡易水道再編推進事業が3年目を迎え、6億9,200万円を計上しました。下水道特別会計では、置戸浄化センター施設・設備の長寿命化のため、改修経費として5,300万円、新たな事業として境野浄化センターの改築実施設計委託として610万円を計上しました。

・簡易水道再編推進事業 6億9,200万円

・置戸浄化センター改築工事 5,300万円

・境野浄化センター改築工事 610万円